

衆議院議長 様  
参議院議長 様

## 教育格差をなくし、子どもたちに ゆきとどいた教育を求める署名

子どもと教育・文化を守る京都府民会議  
京都市中京区壬生仙念寺30-2 ラポール京都内

京都の公立高校30人学級をすすめる会  
京都市左京区聖護院川原町4-13 京都府教育会館内

【取り扱い団体】

### 請願趣旨

子どもの学力をめぐっては、近年、教職員や父母のみならず社会的にも強く関心が寄せられているところです。“児童・生徒が確かな学力を身につける”ことや“自分の進路を自らの力で切り拓けるようになる”ことは、圧倒的多数の国民の願いです。これらの願いに応えるためには、教育条件の整備が急務です。「30人学級」については、07年度新たに10の府県で前進があり、東京都を除くすべての道府県で一定の努力がなされています。しかし、すべての小・中・高で実現するためには、国の責任で「30人学級」を制度として確立しなければなりません。

貧困と格差の広がりは、ますます深刻になっています。契約社員やパート・派遣労働を余儀なくされている家庭の収入の中で、教育費が占める割合が増えています。その結果、授業料減免を申請する家庭が年々増えてきています。経済的理由で、学校をやめざるを得ないという深刻な事態も起こっています。今こそ国は、義務教育費の国庫負担を2分の1に戻すことや、私学助成の増額など、教育予算の増額を早急に行うべきです。

教育条件を整備し、親の教育費負担を軽減し、憲法で保障された「すべての子どもが等しく教育を受ける権利」を守り、将来の主権者としてすこやかに成長できるよう、請願事項を実現してくださいを切に要望します。

京都府議会議長 様

## 教育格差をなくし、子どもたちに ゆきとどいた教育を求める署名

子どもと教育・文化を守る京都府民会議  
京都市中京区壬生仙念寺30-2 ラポール京都内

京都の公立高校30人学級をすすめる会  
京都市左京区聖護院川原町4-13 京都府教育会館内

【取り扱い団体】

### 請願趣旨

子どもの学力をめぐっては、近年、教職員や父母のみならず、社会的にも強く関心が寄せられているところです。“児童・生徒が確かな学力を身につける”ことや“自分の進路を自らの力で切り拓けるようになる”ことは、圧倒的多数の国民の願いです。これらの願いに応えるためには、教育条件の整備が急務です。京都市では小学1・2年での35人以下学級に加え、07年度、中学3年で30人学級が実現しました。全国的に見ても、東京を除く、すべての道府県で少人数学級が広がりつつあります。京都府内すべての小・中・高で「30人学級を」の声は府民の切実な願いです。

貧困と格差の広がりは、ますます深刻になっています。契約社員やパート・派遣労働を余儀なくされている家庭をはじめ、家計の中で、教育費が占める割合が増えています。その結果、授業料減免を申請する家庭が年々増えてきています。また、高校の通学圏拡大により、通学費負担も家計を圧迫しています。

教育条件を整備し、親の教育費負担を軽減し、憲法で保障された「すべての子どもが等しく教育を受ける権利」を守り、将来の主権者としてすこやかに成長できるよう、請願事項を実現してくださいを切に要望します。

宇治市議会議長 様

## 子どもたちにゆきとどいた教育を求める署名

学校教育の充実を求める会  
宇治市大久保町上ノ山29-1 宇城久教育会館内

### 請願趣旨

子どもの学力をめぐっては、近年、教職員や父母のみならず、社会的にも強く関心が寄せられているところです。「児童・生徒が確かな学力を身につけること」や「自分の進路を自らの力で切り拓けるようになること」は、多くの国民の願いで、これらの願いに応えるために教育条件の整備が必要です。

京都市では小学1・2年での35人以下学級に加え、07年度、中学3年で30人学級が実現しました。OECD加盟国の平均学級規模は「一学級あたり21.5人」であり、京都府でも来年度から府内の全小中学校を段階的に「30人程度」で学級編成できるよう検討しています。

貧困と格差の広がりは、ますます深刻になっています。家計の中で教育費が占める割合が増え、その結果、授業料減免を申請する家庭が年々増えてきています。また高校の通学圏拡大により、通学費負担も家計を圧迫しています。

さらに子どもに対する虐待や体罰の増加、児童買春や児童ポルノなどの問題等、子どもの権利侵害はますます深刻化しています。

今こそ「子どもの権利条約」の精神に基づき、幅広く子どもの権利を保障する取り組みが求められています。

さて、宇治市では市独自に教職員配置をするなど、日々教育環境の充実に努めて頂いております。平成17年3月定例議会では「学校教育の充実を求める請願」（請願第17-2号）が採択されましたが、その内容の早期実現が求められています。

教育条件を整備し、親の教育費負担を軽減し、憲法で保障された「すべての子どもが等しく教育を受ける権利」を守り、「子どもの権利条約」の主旨を尊重し、子どもたちがすこやかに成長できるよう、請願事項を実現してくださいを切に要望します。

(宇治市向け)

## 請 願 事 項

1. 教育環境、教育条件のさらなる充実のため、また一人ひとりにゆきとどいた教育ができるよう「30人学級」の早期実現を国や府に働きかけるとともに、本市においても段階的实施を含め、早急に実現すること。

(当面35人以上の学級の解消や学年限定の30人学級など)

2. 図書館司書の全校配置と、特別支援教諭など教職員を増やすこと。

3. 校舎の耐震補強の事業を一刻も早く全校に施すこと。

4. よりよい授業をすすめるために、また子どもの健康面から、各教室にエアコンを設置すること。

5. 父母負担軽減のために、以下のことを実現すること。  
現在、小学校1年生のみが対象となっている「小学校歯科治療費の助成」の対象学年を拡大すること。  
修学旅行費などに対する補助を行うこと。  
小中学生に対する医療費の助成を行うこと。

氏 名	住 所

\* この署名簿は、個人情報保護法に基づき、目的以外には使用しません。

(府議会向け)

## 請 願 事 項

1 京都府の責任で小・中・高の30人以下学級(高校職業科25人・定時制20人)をすみやかに実現してください。その早期制度化を国にも働きかけてください。

2 一方的な高校統廃合計画を策定・実施しないでください。地域に根ざした高校を存続・発展させ、教育条件を整備してください。

3 超過密状態の解消・寄宿舎設置・スクールバスの増車など、障害児学校の条件整備を早期に行ってください。

4 義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率二分の一に復活を国に働きかけてください。

5 教育費を増額して、教育費の父母負担軽減、就・修学援助制度や授業料減免制度の充実、通学費補助制度の拡充、私学助成の大幅増をしてください。

氏 名	住 所

\* この署名簿は、個人情報保護法に基づき、目的以外には使用しません。

(国会向け)

## 請 願 事 項

1 教育予算を大幅に増額してください。

2 国の責任で小学校・中学校・高等学校の30人以下学級を実現してください。

3 義務教育費国庫負担制度を維持・拡充し、国の負担率を復元してください。

4 私学助成の国庫補助制度を堅持し、私学助成を大幅に増額してください。

5 障害のあるすべての子どもたちの教育の充実に向けて、職員を増やし、教育条件を整備してください。

6 就学援助制度および授業料減免制度を抜本的に充実してください。教育費の父母負担を軽減してください。

氏 名	住 所

\* この署名簿は、個人情報保護法に基づき、目的以外には使用しません。